

## 愛西市男女共同参画推進懇話会委員を募集します

- ▼内 容／市の男女共同参画を進めるために、取り組むべき課題や方策について話し合います。
- ▼募集人数／若干名
- ▼応募資格／次の要件を全て満たしている方
  - ・市内在住、在勤または在学し、令和2年4月1日現在、満18歳以上の方
  - ・市の審議会などの委員に委嘱および任命されていない方
  - ・市の議会議員および常勤職員でない方
- ▼任 期／令和4年3月31日まで
- ▼応募締切／6月19日(金)必着
- ▼会議の開催／年4回程度開催
- ▼報 酬／市謝金等支払基準による金額
- ▼応募方法／市民協働課および各支所に設置されている「愛西市審議会等公募委員申込書」に記入し、問い合わせ先へ(メール・郵送・FAX可)
  - ※申込書および募集要項は、市ホームページからもダウンロード可
- ▼選考方法／書類選考(結果は応募者全員に通知)
- ▼そ の 他／提出いただいた申込書などは返却しません。会議は、原則公開されますので、委員としての意見などは公表されます。

☎ 市民協働課 ☎(55)7113    ✉ kyodo@city.aisai.lg.jp

### 6月23日～29日は、男女共同参画週間です

「男女共同参画基本法」が広く皆さんに知らされた日が平成11年6月23日であることから、毎年この1週間が男女共同参画週間となっています。この機会に、男女共同参画について考えてみましょう。



今年、愛西市が平成の合併(2005年)により成立して15年の節目です。市の北東部である佐織地区は、1906(明治39)年に勝幡、藤浪、草場、川淵村などが合併して成立した佐織町が起源です。当時は綿織物が特産品であり、町名は、早織り技法からの命名、あるいは、その織り方である佐織縞、また、発祥地?が現在の佐折町という説などに由来します。

しかし、時代の流れで、特産品も綿織物から毛織物へと変遷、現在はノコギリ屋根や藍瓶のような織物工場跡の繁栄を偲ぶものも少なくなりました。一方、諏訪町などの土手を歩いて



いると、石垣代わりに使われている常滑焼の壺を見かけることがあります。これらは、当時、染色に使う水、あるいは、酒などを運搬するための壺であり、小津町が日光川の港町として栄えていた名残です。

また、佐織地区の中で特記すべきは勝幡町です。今年の大河ドラマでも描かれている織田信長の父・信秀の居城であり、信長生誕地でもある勝幡城がありました。もちろん、江戸時代のような天守を持った城ではなく、中世の屋敷とも言える城でした。勝幡駅前には、織田信秀・土田御前と幼子信長の像が建てられています。

☎ 市観光協会 ☎(55)9993

## あいさい見聞録

その28 町の起源・佐織

